

平成 30 年 12 月 28 日

各位

多職種連携のための合同研修会のご案内

主催 球磨圏域介護支援専門員協会
会長 権頭重賢

関係者の皆様方におかれましては益々ご健勝のことと存じます。
さて、下記の通り大分大学の衣笠教授にお越しいただき、研修会を実施することとなりました。

保健・福祉・医療の専門職が、地域の中で連携することの重要性を改めて考える機会にしたいと思います。

ご多用中とは存じますが、ぜひ参加して頂きますようにご案内申し上げます。

職種を問わず、共に学びましょう。

記

○日 時：平成 31 年 2 月 3 日（日）9：00～12：00

○場 所：せきれい館（あさぎり町深田）

○内 容：講演「みんなの支えで、地域で末永く過ごせる為に」
～多職種連携することの重要性を考える（仮）～

○講 師：大分大学福祉健康科学部・大学院福祉社会科学部教授
衣笠 一茂 先生

○参加費：無 料

○定 員：100 名（定員を超過した場合はお断りすることがございます。）

○対 象：職種を問わず、関心のある方は、どなたでも参加していただけます。

【申し込み】メール(kumacare@h-aisei.or.jp)、に職種・氏名・所属・連絡先を明記の上、送信してください。

※メールが使用できない場合は、下記に記入の上、FAX してください。

(送り状は付けないでください。紙資源の節約にご協力下さい。)

職種	氏名	所属	連絡先

FAX：32-9211 【問合せ先】球磨圏域介護支援専門員協会事務局（町田）：080-5609-3938

プロフィール紹介（大分大学ホームページより）



<教授>

衣笠 一茂

社会福祉実践コースでは「人と人との関わりあい」を通して生活を包括的に捉える視点と、それを実践する方法としての「ソーシャルワーク」を学びます。

<専門分野>

ソーシャルワーク実践論，社会福祉援助思想，地域福祉方法論

<主な担当授業科目と内容>

「福祉健康科学概論」

「カラダ」と「ココロ」、そして「ヒトとの関わりあい」で成り立っている「暮らし」を包括的に支援する「福祉健康科学」の視点と考え方、またそれを具象化する方法について、学部生が最初に学ぶ講義を担当しています。

<学位・資格>

博士（社会福祉学）同志社大学

<研究分野>

1. ソーシャルワークの「価値」と「原理」についての実証的研究
2. 「自立」と「自己決定」の限界を超えうる、援助思想についての論究
3. コミュニティ・エンパワメントの具体的方法についての実証的研究

<研究分野の紹介>

社会福祉、特にソーシャルワークという実績が「何を対象とし、何を実現しようとする営みなのか」を臨床・実践場面にできるだけ密着しながら、質的な調査方法をもって社会福祉独自固有の「価値と原理」のあり方についての論理構築を目指しています。

これからの時代は、医療・福祉・介護が一体となった「地域包括ケア」を実現する時代になります。さまざまな対人援助の専門職者が連携をとっていく中で、ソーシャルワーカーに何が求められるのか、またその独自固有性は何か、という点に注目していきながら「生活を包括的に支援する」対人援助システムを支える価値と思想について研究しています。